

県外出身の生徒と学習したい

【小学校・小学部】

- ・他県からくる生徒に交通支援をしてくれる高校で学びたい。
- ・小学校みたいに同じ地域出身の友達との勉強もいいと思うけど、高校は小学校より地域関係なく学力などで集められていて、県外出身の友達もいるので、自分とは違う価値観や文化にも触れられて、いい事だなと思います。
- ・県外の人といろいろな交流を深めていって同じ高校で学習することによってほかの学校と交流するときにコミュニケーションをとる能力高まるから。
- ・いろんな国や県の人と方言や、外国語を学びたいからです。

【中学校・中学部】

- ・私の地域では過疎化が進み、今現在通っている中学校も私が二年生の時に統合し、町で唯一の中学校となりました。私は町の自然や人の温かさなどの良いところを伝えていきたいと考えています。そのために、県外出身の生徒の話聞きながら地域に貢献するための学習をしたいと思います。
- ・県外出身の方と関わることで、他県の学習に対する姿勢を知る機会を得ることができ、自分とは視点の異なる意見を取り入れ自分の考え方をより柔軟にできると思いました。
- ・ほかの県の人とのコミュニケーションをとることで、岩手にはない新しいことの発見や逆に他県の生徒に岩手にしかないことも教えることもできる。

【高等学校・高等部】

- ・教育目標や環境について、県外出身の生徒でも安心でき、魅力を感じられる高校があれば良いと思う。
- ・外国の人をもっと増やして話したい、遊びたい。

県教育委員会からのコメント

県立高校の現在の姿

- 県外の中学校から県内の公立高校に入学したい場合は、家族で岩手県に引っ越しをして来なければなりません。ただし、青森県、秋田県、宮城県に近い地域では、特別に引っ越しをしなくても県内の公立高校に入学できる制度があります。それ以外にも、県外出身の生徒が県内の公立高校に入学できる制度があり、それを「いわて留学」と言います。
- 令和6年度には、13校で「いわて留学」を行っており、合計32人の生徒が入学しています。
- 「いわて留学」を行っている高校では、県内の生徒と県外の生徒と一緒に学ぶ中で、お互いを刺激し合って、良い学習ができています。
- 生徒が少なくなっている1学年あたり1クラスの学校へは、「いわて留学」を行うための支援を続けなければなりません。
- 親から離れて県外から来た生徒は、下宿や寮での生活や学校生活に馴染めない場合があるので、そのような生徒への支援が求められています。
- 県内に住んでいる外国人は増えていて、今後は外国人の生徒も増えることが予想されます。県立高校には何人かの外国人の生徒がいて、日本語の指導などを個別に対応しています。
- 今後、日本語の指導が必要な生徒が増えることが予想されるので、生徒に応じた適切な支援をしなければなりません。

県立高校の将来の姿

- 「いわて留学」を行っている高校、これから行おうとしている高校を支援することを目指します。
- 県外から来た生徒が、下宿や寮での生活、学校生活に馴染めるように支援することを目指します。
- 外国人の生徒に対して、日本語の教育含めた、学校での学習全体を支援することを目指します。